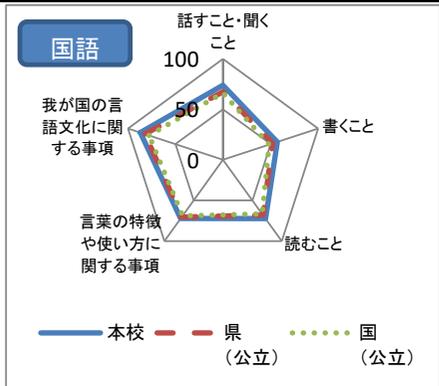


# 令和4年度全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画について【国語】

海田町立 小学校  
海田南

本年度正答率(本校71%, 県67%, 国65.6%)	本年度の結果について
-----------------------------	------------



- 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける問題【3(二)】では、正答率50.0%で、県平均(40.8%)及び全国平均(37.7%)より約9%上回った。
- 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる問題【1(四)】では、正答率56.5%で、県平均(49.4%)及び全国平均(47.7%)より7%以上上回った。
- 「ぼく」の気持ちの説明として適切なものを選択する問題【2(一)】では、正答率71.7%で、県平均(71.4%)及び全国平均(70.6%)とほぼ同等であり、差は小さい。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う問題【3(三)イ】では、正答率55.4%で、県平均(59.5%)及び全国平均(58.7%)より4.1%下回った。

重点課題
【課題1】 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。
【課題2】 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)	全校での目標(キャッチフレーズ)
<ul style="list-style-type: none"> <li>意味調べ・熟語集めを継続して行う。</li> <li>文作りや日記を書く機会を積極的に作り、漢字を使う取組を増やす。</li> </ul>	漢字を使い切ろう
<ul style="list-style-type: none"> <li>答えの根拠となる叙述に線を引く活動を取り入れる。</li> <li>「何でそう思うか。」と問い直し、叙述に戻って考えさせ、授業を進める。</li> <li>語彙力を高めるため、言葉を調べたり言葉の意味をアウトプットしたりする。</li> </ul>	根拠となる叙述を見つけて考えよう

令和5年度 全国学力・学習状況調査 数値目標
県平均+3ポイント

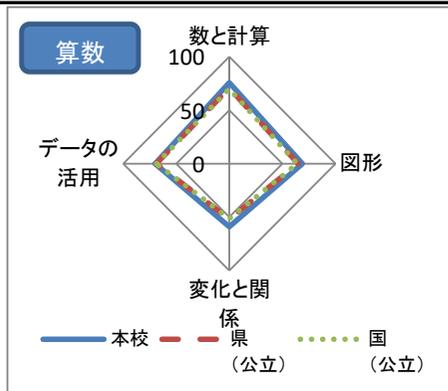
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月	
学年・方法	・熟語の成り立ち(6年)熟語の成り立ちを理解する。 ・日記…既習の漢字を必ず使って書く。	・漢字の広場(6年)物語を書く。	・鳥獣戯画(6年)意味調べワークシート					
目標値		単元末テスト到達度75%		標準学力学習状況調査町平均+1P		単元末テスト到達度80%		
実施後数値								
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月	
学年・方法	・たずねびと(5年)情景描写に着目し、叙述を基に筆者の伝えたい思いをとらえる。 ・やまなし(6年)根拠となる文に線を引く。	・よりよい学校生活のために(5年)資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書く。	・ピプリオバトル叙述をもとにおすすの本を紹介する。 ・鳥獣戯画(6年)ワークシートを使って根拠となる文に線を引く。	・あなたは、どう考える(5年)自分の考えを伝えるために、どう書けばよりよく伝わるかを判断しながら書く。			・大遣じいさんとガン(5年)キャッチコピーを作り、そこに込めた思いを叙述に即して説明する。	
目標値	単元末テスト到達度80%		ピプリオバトル到達度100% 単元末テスト到達度75%	標準学力学習状況調査町平均+1P		単元末テスト到達度80%		
実施後数値								

# 令和4年度全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画について【算数】

海田町立  
海田南 小学校

本年度正答率(本校69%, 県64%, 国63.2%)

本年度の結果について



- ・示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述する問題【3(4)】では、正答率93.5%で、県平均(79.7%)及び全国平均(76.0)より14.8%上回った。
- ・二つの数の最小公倍数を求める問題【1(2)】では、正答率72.8%で、県平均(73.2%)及び全国平均(72.2%)より0.4%下回ったが、差は小さいと言える。
- ・ $85 \times 21$ の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ問題【1(4)】では、正答率30.4%で、県平均(34.9%)及び全国平均(34.8%)より4.5%下回った。

重点課題
【課題1】 示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる。
【課題2】 二つの数の最小公倍数を求めることができる。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)	全校での目標(キャッチフレーズ)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じた概数についてぐんぐんタイムで基礎的な問題(かけ算・分数・小数)などの習熟を図る。</li> <li>・生活場面と結び付けた問題提示と答えの検討をさせる。</li> </ul>	問題場面と照らし合わせる
<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数用語をおさえた指導をする。</li> <li>・最小公倍数と最大公約数の意味を抑える。ぐんぐんタイムなどで繰り返し様々な問いのパターンに触れる。</li> </ul>	算数用語を使って解決する

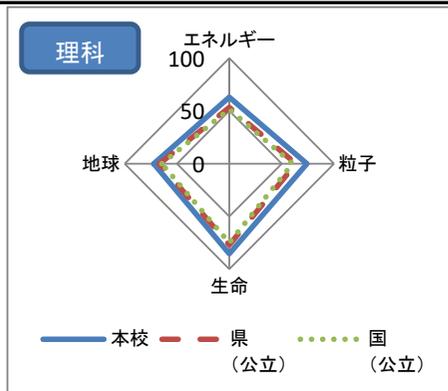
令和5年度 全国学力・学習状況調査 数値目標
県平均+3ポイント

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	・拡大図と縮図(6年) 実際の地図を使って距離を求める。	・およその面積と体積(6年) 学校や町、身の周りにある施設などの面積や体積を求める。 ・算数のツボ	・比べ方を考えよう(5年) 目的に合った数の処理ができるように、実生活の問題場面を考える。	・6年間の復習(6年)	・比べ方を考えよう(5年) 目的に合った数の処理ができるように、実生活の問題場面を考える。 ・算数のツボ	・箱の形の持ちよう調べよう(4年) (立方体、直方体) ・算数のツボ	・4年のふくしゅう
目標値	単元末テスト 到達度75%	単元末テスト 到達度75%	単元末テスト 到達度75%	標準学力学習状況調査 町平均+1P		単元末テスト 到達度80%	
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	・整数の性質を調べよう(5年) ・分数のたし算、ひき算を広げよう(5年) 算数用語を正しく理解し自分の考えを伝えるときに使う。	・角柱と円柱の体積(6年) 底面積・高さ ・算数のツボ	・比例と反比例(6年) ・決まった数	・6年間の復習(6年)	・算数のツボ	・算数のツボ	
目標値	単元末テスト 到達度75%	単元末テスト 到達度75%	単元末テスト 到達度75%	標準学力学習状況調査 町平均+1P		単元末テスト 到達度80%	
実施後数値							

# 令和4年度全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画について【理科】

海田町立 海田南 小学校

本年度正答率(本校74%, 県66%, 国63.6%) 本年度の結果について



- ・自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述する問題【1(2)】では、正答率90.2%で、県平均(71.0%)及び全国平均(67.5%)より約20%上回った。
- ・観察などで得た結果を、結果から言える事の視点で分析して、観察し、自分の考えをもつ問題【4(3)】では、正答率40.2%で、県平均(48.5%)及び全国平均(45.5%)より8.3%下回り、半数以上の児童に課題があることが分かった。
- ・自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつ問題【3(3)】では、正答率69.6%で、県平均(70.9%)及び全国平均(68.9%)より1.3%下回り、課題があるといえる。

重点課題
【課題1】 観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。
【課題2】 自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことができる。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)	全校での目標(キャッチフレーズ)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を解決するための計画を立て、実験・観察し、まとめる過程を丁寧に扱う。(根拠となる資料をもとにまとめる。)</li> <li>・目的をもって調べてまとめる。</li> <li>・実験の計画からまとめ、考察までの思考が断片的ではなく、繋がって考えられる授業を展開する。</li> <li>・調べたいことに対して計画を立てる過程を大切にする。</li> </ul>	<p>目的意識をもった実験・観察 ⇒まとめ</p>

令和5年度 全国学力・学習状況調査 数値目標

県平均+3ポイント

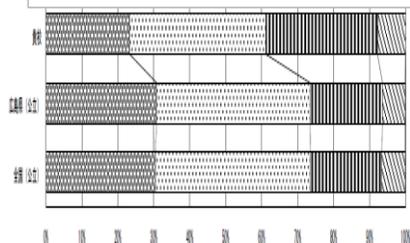
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	・花から実へ(5年)	・台風と天気の変化(5年) ・太陽と影をしらべよう(3年)	・流れる水のはたらき(5年) ・太陽の光をしらべよう(3年)	・物のとけ方(5年)	・人のたんじょう(5年)	・電流がうみ出す力(5年)	・ふりこのきまり(5年)
目標値		単元末テスト 到達度75%	単元末テスト 到達度75%	標準学力学習状況調査 町平均+1P			
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	・月の形と太陽【調べ学習・実験】(6年)	・大地のつくり【実験・観察】(6年) ・台風と天気の変化(5年)	・てこのはたらき【実験】(5年) ・変わり続ける大地(6年)	・電気とわたしたちのくらし【実験・プログラミング】(6年)	・水溶液の性質とはたらき【実験】(6年)	・地球に生きる【調べ学習】(6年)	
目標値		単元末テスト 到達度75%		標準学力学習状況調査 町平均+1P			
実施後数値							

# 令和4年度指導方法等の改善計画について【質問紙】

(全国学力・学習状況調査 質問紙)

## (1)生活・学習

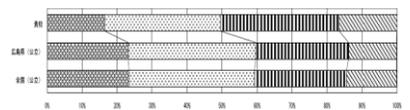
(17)「自分と違う意見について考えることが好きですか。」



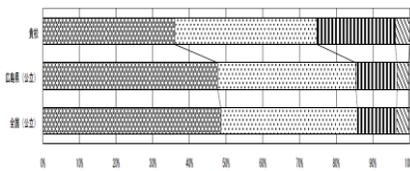
児童生徒の回答についての課題(現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
「自分と違う意見について考えることが好きですか。」 ・当てはまる(23.3%) ・どちらかという当てはまる(37.9%) ・どちらかという当てはまらない(31.1%) ・当てはまらない(7.8%) ⇒他者と対立したくない、違う意見を考える事に消極的な児童が多い。	授業後の振り返りを交流する場を設けたり、新聞の記事についての感想を交流する場を設ける。	6	「当てはまる・どちらかという当てはまる」と回答する児童の割合を65%以上にする。	アンケート	12月		

## (2)教科

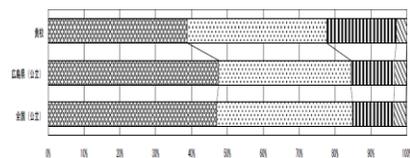
国語の勉強は好きですか。



算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。



理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか。



児童生徒の回答についての課題(現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
「国語の勉強は好きですか。」 ・当てはまる(16.5%) ・どちらかという当てはまる(33.0%) ・どちらかという当てはまらない(34.0%) ・当てはまらない(16.5%) ⇒国語科に苦手意識がある児童がいる。	なぜ嫌いなのかを実態把握した上で、興味関心がもてる授業づくりをしていく。分からない問題に対して見通しをもたせ、アプローチしていく。	6	「当てはまる・どちらかという当てはまる」と回答する児童の割合を60%以上にする。	アンケート	12月		
「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。」 ・当てはまる(35.9%) ・どちらかという当てはまる(38.8%) ・どちらかという当てはまらない(21.4%) ・当てはまらない(3.9%) ⇒公式を理由付けして理解することに課題がある。	公式がどのように導かれたのか、過程を考えることのできる授業をする。方法論に陥らないようにする。	6	「どちらかという当てはまらない・当てはまらない」と回答する児童の割合を15%以下にする。	アンケート	12月		
「理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか。」 ・当てはまる(38.8%) ・どちらかという当てはまる(38.8%) ・どちらかという当てはまらない(19.4%) ・当てはまらない(2.9%) ⇒自分の言葉でまとめることに課題がある。	自分の言葉でまとめるために、結果から考察する過程を丁寧に指導する。	6	「どちらかという当てはまらない・当てはまらない」と回答する児童の割合を10%以下にする。	アンケート	12月		